

マテリアリティに関する KPI(評価指標)策定のお知らせ

マクセル株式会社(以下、マクセル)は、サステナビリティ経営推進のため、2021年に特定した7つのマテリアリティ(重要課題)(以下、マテリアリティ)について評価指標(KPI)を策定し、本日2022年9月30日に統合報告書にて公開しました。

主な取り組みは以下の通りです。

マテリアリティ	KPIの一例
独創技術によるイノベーション創出	■ 次世代開発技術に関する 特許資産数 5年で1.5倍
成長事業を通じた社会課題の解決	■ 注力3分野 成長13事業 全体の売上高の伸び率10%(2021年度比2023年度)
価値を生み出す人・組織づくり	■ 従業員意識調査 総合満足度の向上90%以上
顧客価値の最大化	■ SQM (Super quality management for Maxell Group)の推進と PS (製品安全)事故ゼロの継続
環境活動による経済価値の創出	■ CO₂排出量 2030年50%削減(2013年度比)
事業ポートフォリオ経営の強化	■ 高収益な A、B事業 売上高比率50%超(2023年度)
グループ・ガバナンスの強化	■ 全社横断組織 の活動強化と適切な リスクマネジメントシステム の運用強化

詳細は統合報告書の Web サイト(https://www.maxell.co.jp/ir/ir_library/i_report.html)をご覧ください。

マクセルは、持続可能な社会の実現に貢献するため、2021年8月に優先的に取り組む7つの重要課題(マテリアリティ)を特定し、継続的に指標と目標に対する検討を行ってきました。このたび、各マテリアリティについて評価指標(KPI)を策定、これからは各マテリアリティの取り組みを推進し、KPIの達成を通じて、企業価値のさらなる向上に努めていきます。

これからも、持続可能な社会の実現に向けた取り組み強化により、従業員やお客様、お取引先様、株主・投資家の方々、そして地域社会など、すべてのステークホルダーの皆さまに「最高の価値(Maximum Excellence)」を提供し続け、「未来の中に、いつもいる」企業をめざし、サステナビリティ経営に取り組んでいきます。

■お問い合わせ先

マクセル株式会社 コーポレート・コミュニケーション本部 サステナビリティ推進部

お問い合わせフォーム: <https://maxell.tayori.com/f/tayori-03/>

以上

ニュースリリース、お知らせ記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、
発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日時点のものです。
予告なしに変更され、発表日と情報が異なる場合もありますので、あらかじめ
ご了承ください。
